

サニタリーチェスト SH-1600 組立説明書

この度は、当製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
正しく安全にご使用して頂く為に、この組立説明書をよくお読み頂いた上で組み立て、ご使用下さい。
また、いつまでもご覧いただけるよう大切に保管して頂きますよう、お願い致します。

《取り扱い上の注意》

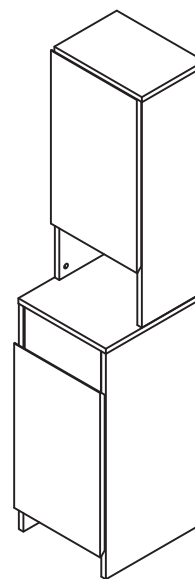
- ◎水平な場所でご使用下さい。凹凸があったり、傾斜がある場所での設置はしないで下さい。
- ◎フローリングや畳等、やわらかい床材の上で使用されますと、床材に凹みが出る可能性があります。
傷や凹みが出来ないように、カーペット等の敷物を敷いた上でご使用下さい。
- ◎腰掛けたり踏み台代わりにして乗らないで下さい。転倒して怪我をする恐れがあり大変危険です。
商品の破損の原因にもなりますので、所定の用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- ◎高温多湿な環境、直射日光が当たる、またストーブの近くでのご使用は避けて下さい。
変色したり、傷む可能性があります。
- ◎表面の汚れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いて下さい。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤で
汚れを落とし、乾いた布でよく拭き取って下さい。シンナーやベンジン、アルコールなどの溶剤、
磨き粉、サンドペーパーなどの磨き剤は表面を傷めますので使用しないで下さい。
- ◎移動の際は二人以上で、手でしっかり持ち上げて運んで下さい。引きずって移動しますと、
フローリング、畳等の床材を傷つける恐れ、商品破損の原因にもなります。
- ◎組み立て式ですので、使用中に各部ネジ類の緩みが発生する可能性があります。緩んだままでの
ご使用を続けると、重大な事故に繋がる恐れがありますので、一ヶ月に一度は各部ネジ類の
緩みがないか、点検をお願い致します。
- ◎幼児一人では使用させないで下さい。

■部品一覧 ※プラスドライバーをご用意下さい。

本体

① 左側板(上) x1	② 右側板(上) x1	③ 天板(上) x1	④ 補強板(上) x1	⑤ 固定棚(上) x1
⑥ 背板(上) x1	⑦ 扉(上) x1	⑧ 可動棚 x2	⑨ 左側板(下) x1	⑩ 右側板(下) x1
⑪ 背板(下) x1	⑫ 地板 x1	⑬ 後幕板 x1	⑭ 天板(下) x1	⑮ 扉(中) x1
⑯ 扉(下) x1				

完成図



《品質表示》

外形寸法：幅 350×奥行 418×高さ 1600mm
主材：合成樹脂化粧合板、プリント紙化粧繊維板
ランドリー籠：スチール(エポキシ樹脂塗装)
表示者：株式会社 宮武製作所

大阪市東住吉区桑津 1-23-13 MADE IN CHINA

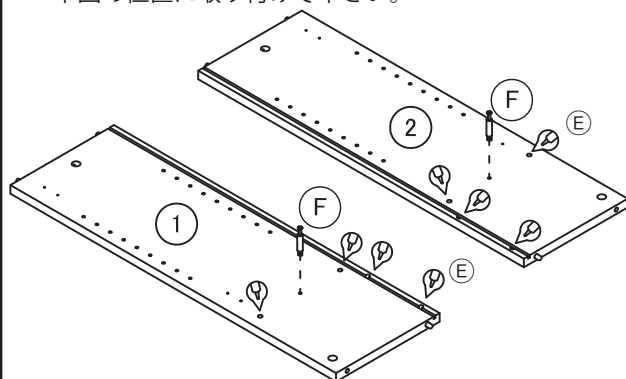
部品

番号	形状	名称	個数
Ⓐ		クッション	5
Ⓑ		横揺れ防止具	8
Ⓒ		ネジ(小)	12 予備+1
Ⓓ		転倒防止具	2
Ⓔ		ボンド	1
Ⓕ		カムロックネジ	10 予備+1
Ⓖ		ネジ(大)	16 予備+1
Ⓗ		カムロック	10 予備+1
Ⓘ		スライド蝶番	4
Ⓙ		連結金具	2
Ⓚ		棚受けダボ	8
Ⓛ		ランドリー籠	1
Ⓜ		固定ピン	2
Ⓝ		目隠しシール	2

組立順序

- 組立て前に部品が揃っているかご確認ください。■組立ては二人以上で、平らな場所で行って下さい。
- 組立ては、手袋、又は軍手をはめて行って下さい。
- 商品や床、周辺の家具等に傷が入らない場所で、柔らかいカーペットの上で行って下さい。
- 各部のボルトはまず緩く仮締めして組立てし、組立て完成後にしっかりと締め付けると組立て易くなります。

- 1 ①左側板(上)と②右側板(上)に⑥カムロックネジを下図の位置に取り付けて下さい。

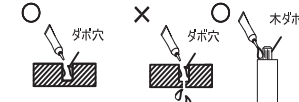


※ ②に⑥ボンドを入れて下さい。

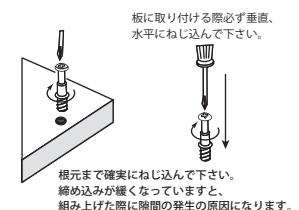
※すべての木ダボ穴にボンドを塗布してください。

■敷物を敷いてから作業します
ボンドはダボ穴の側面に適量塗りつけてください。
穴が貫通している場合は木ダボに塗り付きます。

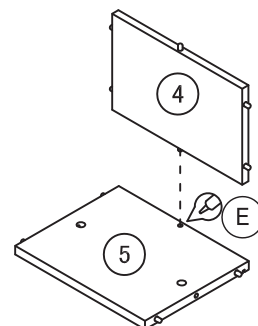
【通常のダボ穴】 【貫通しているダボ穴】



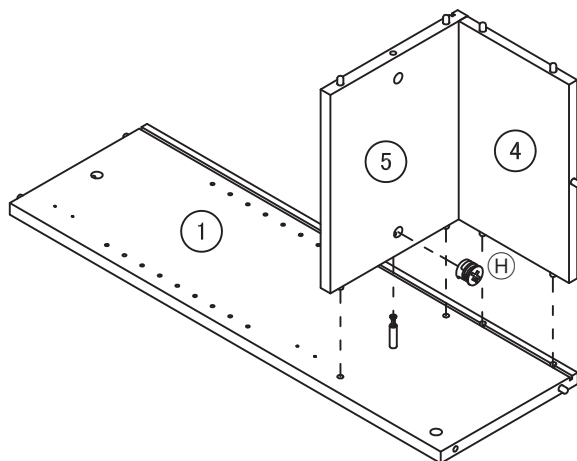
カムロックネジの取り付け方



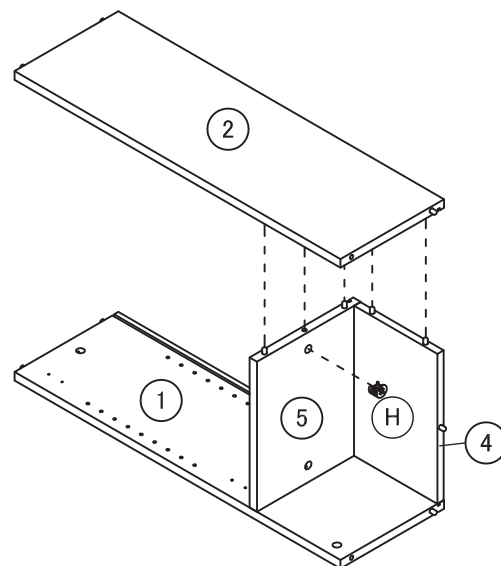
- 2 下図を参考に⑤固定棚(上)の②の穴に⑥ボンドを入れ、④補強板(上)を取り付けて下さい。



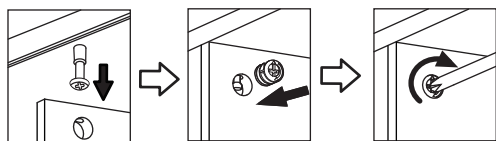
- 3 工程 2 で組み立てた⑤固定棚(上)、④補強板(上)を下図を参考に①左側板(上)に取り付け、⑧カムロックを差し込みドライバーで回して下さい。



- 4 下図を参考に②右側板(上)を⑤固定棚(上)及び④補強板(上)に取り付け、⑧カムロックを差し込みドライバーで回して下さい。

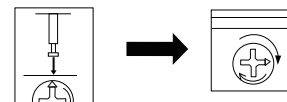


※カムロックの取り付け方は
下図を参照して下さい。



●ご注意●

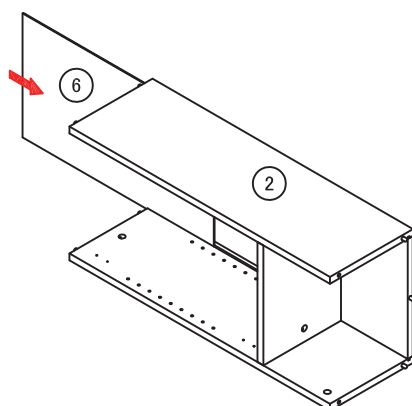
カムロック⑧差し込む時は、△印の間にカムロックネジ⑥が入るように、プラスドライバーを使って向きを調節して下さい。



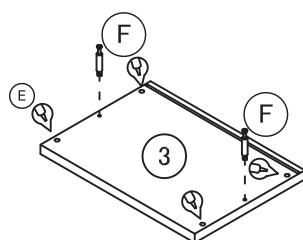
印が右にくるように回して、カムロック(受け)が止まる最後まできつく回して下さい。

★お願い★
最後までカムロックを回すことで、使用中に緩みにくくなりますが、組立式ですので、定期的な各部ボルトの点検をお願い致します。

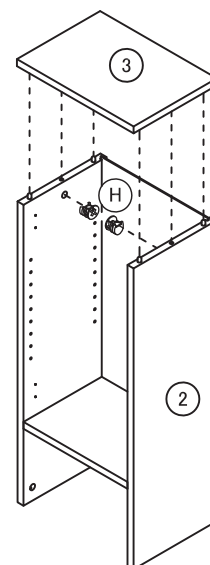
- 5 ⑥背板(上)を本体に差し込んで下さい。



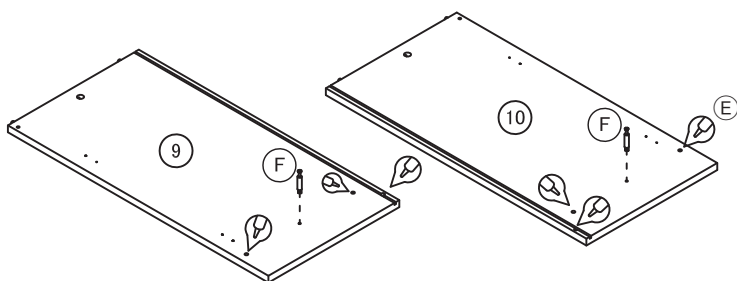
- 6 ③天板(上)に⑥カムロックネジを下図の位置に取り付けて下さい。
②にボンドを入れて下さい。



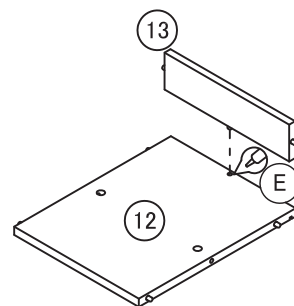
- 7 ①～⑤の工程で組み立てた本体を起し下図を参考に③天板を取り付け、⑧カムロックを差し込みドライバーで回して下さい。



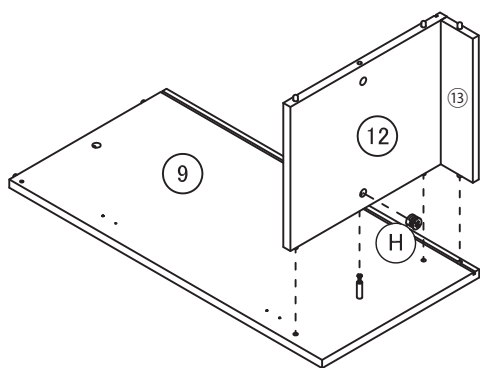
- 8** ⑨左側板(下)、⑩右側板(下)に⑥カムロックネジを下図の位置に取り付け、⑦に⑥ボンドを入れて下さい。



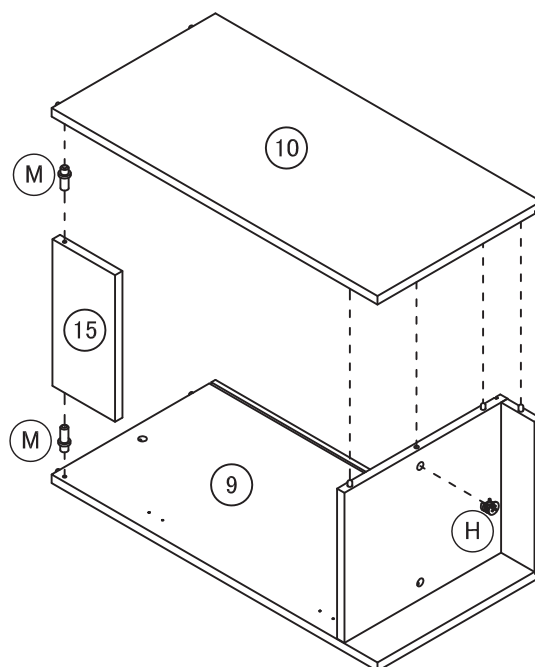
- 9** ⑫地板の⑧に⑥ボンドをいれ、⑬後幕板を取り付けて下さい。



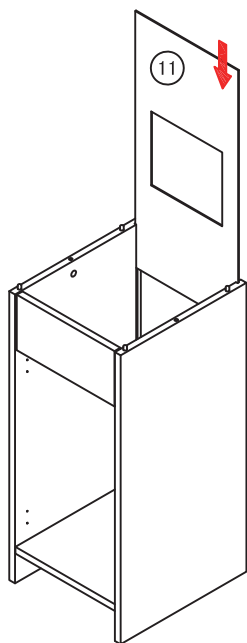
- 10** 工程 9 で組み立てた⑫地板、⑬後幕板を下図を参考に⑨左側板(下)に取り付け、下図の位置に⑨カムロックを差し込みドライバーで回して下さい。



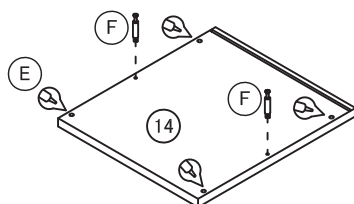
- 11** 下図を参考に⑭固定ピンを⑮扉(中)に差し込み⑨左側板(下)に取り付けた後、⑩右側板(下)を取り付け、下図の位置に⑨カムロックを差し込みドライバーで回して下さい。



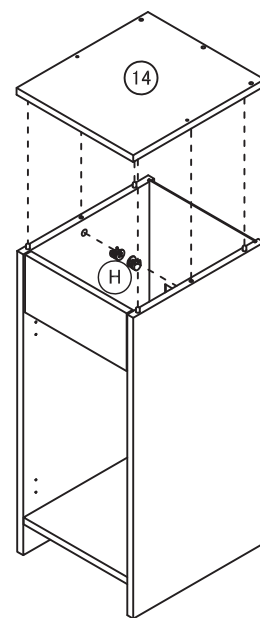
- 12** 本体に⑪背板(下)を差し込んで下さい。



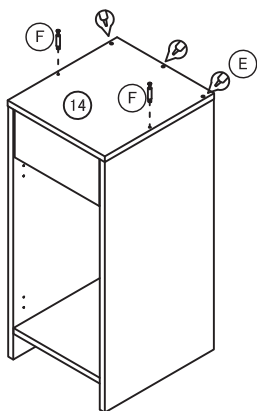
- 13** ⑭天板(下)に⑥カムロックネジを下図の位置に取り付け、⑧に⑥ボンドを入れて下さい。



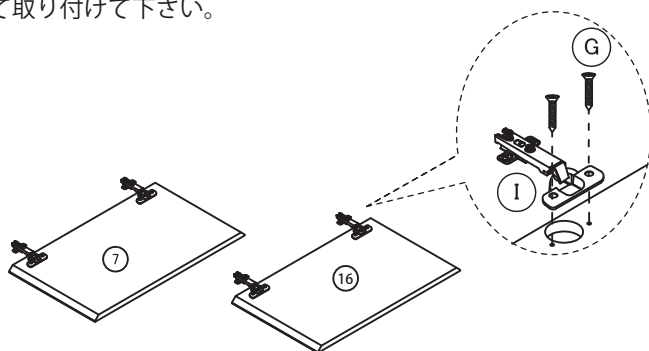
- 14** ⑭天板(下)を本体に取り付け、⑨カムロックを差し込みドライバーで回して下さい。



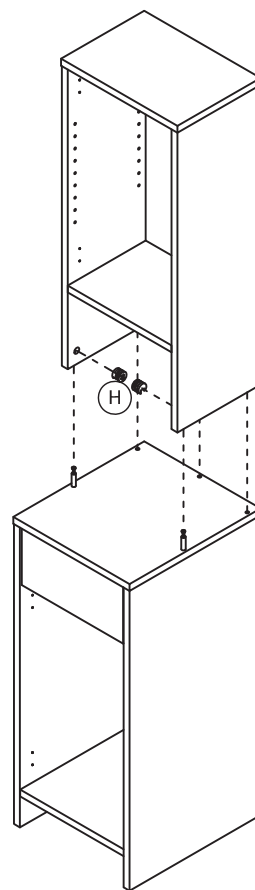
- 15 工程 8 ～ 14 で作成した本体下部の⑭天板(下)の下図の位置に⑦カムロックネジを取り付け、⑤ボンドを入れて下さい。



- 17 ⑦扉(上)と⑩扉(下)に①スライド蝶番を⑥ネジ(大)を使用して取り付けて下さい。

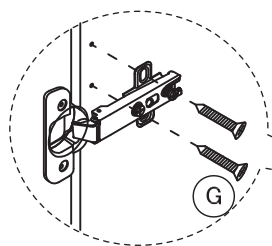


- 16 工程 1 ～ 7 で作成した本体上部を下図を参考に取り付け、⑨カムロックを差し込み、ドライバーで回して下さい。

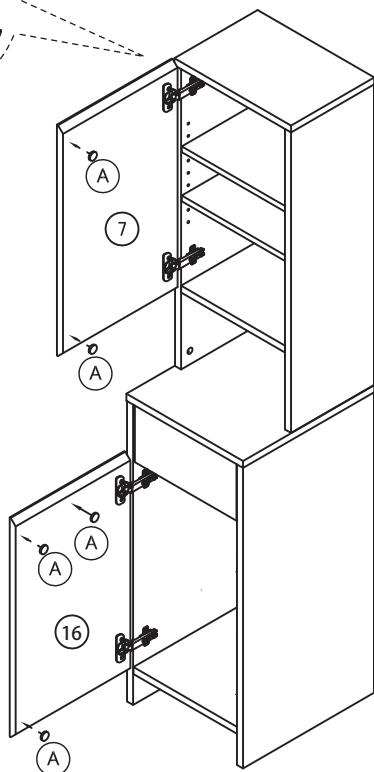


- 18 下図を参考に⑦扉(上)、⑩扉(下)を⑥ネジ(大)を使用して本体に取り付けて下さい。
下図の位置に④クッションを5箇所取り付けて下さい。

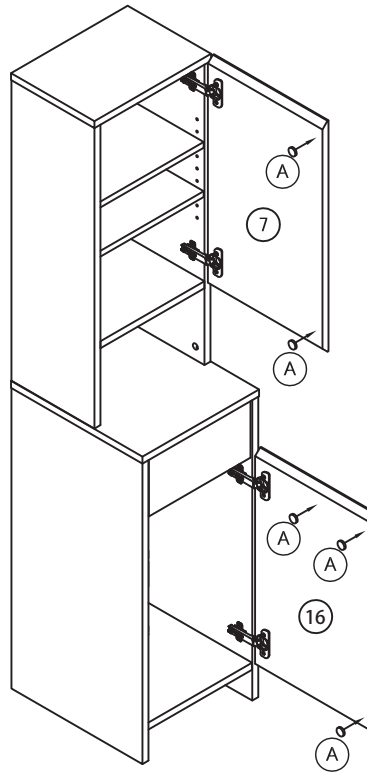
※扉は組み立て時に左右どちらに取り付けるか選択可能



*扉を左開きにする時



*扉を右開きにする時

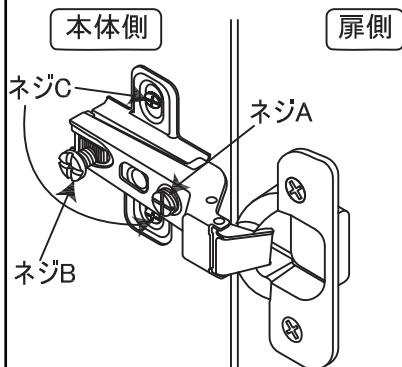


■ スライド蝶番の調節について

スライド蝶番を調節することで扉の位置を調節することができます。

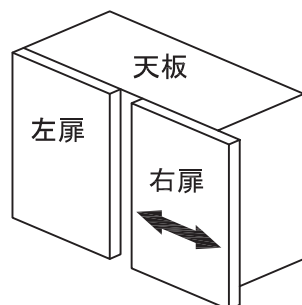
＜調節に必要な道具＞

■ プラスドライバー



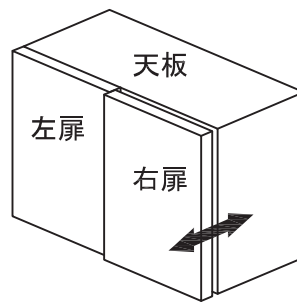
※スライド蝶番の形状は商品により若干異なる場合がございます。

【扉の左右のかぶせ量調節】



ネジAを右に回すと扉が内側に移動します。
逆に左に回すと扉が外側に移動します。

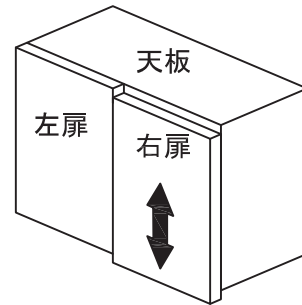
【扉の前後調節】



ネジBを左に回して緩め、扉の前後を正しい位置に合わせます。
そしてネジBを右に回して固定します。

【扉の上下調節】

※スライド蝶番によっては、上下調節できないものもございます。



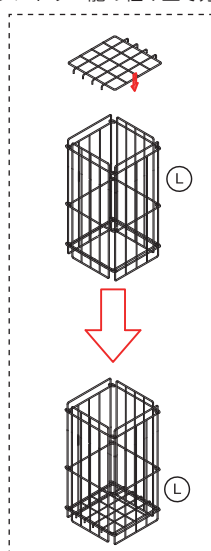
ネジCを左に回して緩め、扉の上下を正しい位置に合わせます。
そしてネジCを右に回して固定します。

19

①ランドリー籠を組み立て、本体に入れて下さい。

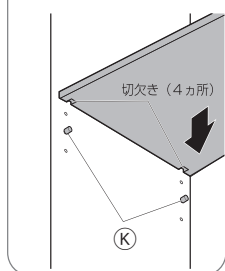
②可動棚 × 2 枚をお好みの一に③棚受けダボを使用し取り付けして下さい。

ランドリー籠の組み立て方

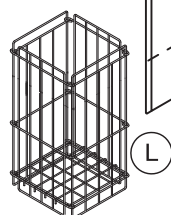


取り付け方

棚ダボはお好みの高さに
そろえて取り付ける

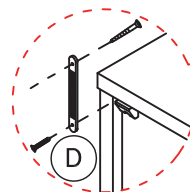


本体内側のカムロックが見えている箇所左右に④目隠しシールを貼って下さい。

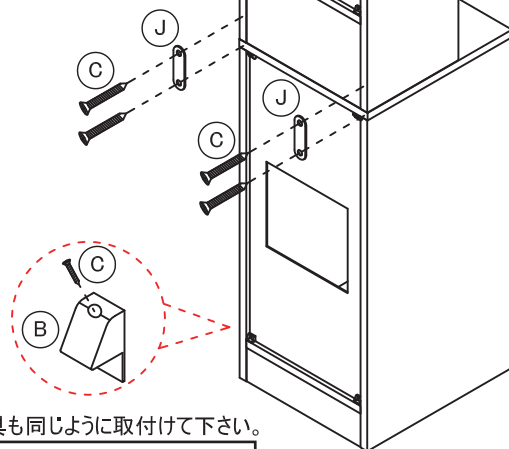


20

下図の位置に①連結金具を②ネジ (小) を使用して取り付けて下さい。下図を参考に③横揺れ防止具を④ネジ (小) を使用して本体背面、上四隅、下四隅、計 8 箇所取り付けして下さい。



※③転倒防止具を取り付ける場合は、図を参考にして本体と設置面の壁にネジで取り付けして下さい。



*他の揺れ防止具も同じように取付けて下さい。

揺れ防止具は、背板と他の部材 (天板、棚板、底板など) の間に取り付けてください。



揺れ防止具が差し込みにくい場合は、ドライバーなどで押し込んで下さい。